

災 害 の 概 況

(平成 22 年 上半期)



鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合
消 防 局

目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
I. 火災概況	2
1. 火災の状況	2
2. 火災原因	2
3. 死者・負傷者	3
別図 I - 1 火災件数の推移	3
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	3
別図 I - 3 月別の火災件数	4
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率	4
別図 I - 5 経過別負傷者発生状況	5
別表 I - 1 平成22年上半期の火災概況	6
別表 I - 2 月別火災発生状況	7
別表 I - 3 市町村別火災状況	8
別表 I - 4 原因別火災発生概況	9
II. 救急概況	10
1. 救急出動状況、救急搬送状況	10
2. 市町村別救急活動状況	10
3. 傷病程度別搬送状況	10
4. 年齢別搬送状況	10
5. 署所別救急活動状況	10
6. 月別救急活動状況	10
7. 現場到着所要時間、収容所要時間	10
8. 応急手当実施状況	10
9. 高度救命処置件数	10
10. 医師引継ぎ時の状況	10
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	11
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	11
別図 II - 3 過去5年間の救急推移	12
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	12
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	13
別図 II - 6 年齢別搬送状況	13
別図 II - 7 署所別救急活動状況	14
別図 II - 8 月別救急活動状況	14
別図 II - 9 現場到着所要時間	15
別図 II - 10 収容所要時間	15
別図 II - 11 応急手当実施状況	16
別図 II - 12 高度救命処置件数	16
別図 II - 13 医師引き継ぎ時の状況	16

Ⅲ. 救助概況	17
1. 事故種別救助出動状況	17
2. 事故種別救助活動状況	17
3. 事故種別救助人員状況	17
4. 管轄別救助活動状況	17
5. 市町村別救助活動状況	17
別図Ⅲ－ 1 事故種別救助出場状況	17
別図Ⅲ－ 2 事故種別救助活動状況	18
別図Ⅲ－ 3 事故種別救助人員状況	18
別図Ⅲ－ 4 管轄別救助活動状況	19
別図Ⅲ－ 5 市町村別救助活動状況	19
Ⅳ. 119番着信概況	20
1. 概況	20
2. 月別の着信状況	20
3. 電話種別による通報状況	20
4. 携帯電話からの着信状況	20
5. 時間帯別119番通報の着信状況	21
別表Ⅳ－ 1 119番着信件数の推移	21
別表Ⅳ－ 2 月別119番着信状況	21
別表Ⅳ－ 3 電話種別による119番着信件数の推移	21
別表Ⅳ－ 4 電話種別の通報状況	22
別表Ⅳ－ 5 携帯電話からの着信状況	22
別表Ⅳ－ 6 携帯電話の消防機関別転送状況	22
別図Ⅳ－ 1 通報内容別着信状況	23
別図Ⅳ－ 2 月別着信状況	23
別図Ⅳ－ 3 固定電話、携帯電話、IP電話からの着信比率	24
別図Ⅳ－ 4 時間帯別着信状況	24
別図Ⅳ－ 5 災害別の固定電話、携帯電話からの着信比率	24

災害概況のまとめ

(平成22年1月から6月)

I 火災概況

平成22年上半期の火災件数は41件で、前年に比べ22件減少しています。これは、建物火災が5件、その他火災（枯れ草火災などの火災）が14件、林野火災が3件減少したことによるものです。火災件数が減少した一方で、焼損面積及び損害額が昨年と比べ大幅に増加しています。焼損面積が増加した要因としては、1月に発生しました大規模な工場火災によるものです。また、損害額が増加した要因としては、住宅火災によるものと、作業場火災による収容物の焼損によるものです。

火災原因については、「こんろ」が6件と最も多く、次いで「放火（疑いを含む）」が5件、「たき火」が5件となっています。

死者は1人で、前年に比べ1人減少しています。負傷者は前年に比べ2人増加し10人となっており、消火しようとした際に多く発生しています。死者、負傷者ともに65歳以上の高齢者の割合が高く、今後の高齢化の進展とともに、さらに増加していく恐れがあります。

今後の取り組みとして、自治会等と連携し住宅用火災警報器の設置促進活動を含めた住宅防火の推進が重要と考えます。

II 救急概況

救急出動件数は4,235件で前年に比べ88件、救急搬送人員は4,015名で136名の増加となり、4年ぶりの増加となっています。

事故種別で見ますと、急病が半数以上を占め、次いで転院搬送、一般負傷、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が搬送される件数が年々増加しています。今後、少子高齢化に伴い更に高齢者が占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対する応急手当の割合が微減しています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大します。

III 救助概況

救助出動件数は71件で前年に比べ8件の減少、救助活動件数は53件で前年に比べ8件減少しています。

救助人員は47名で前年に比べ1名増加し、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く30名となっています。

全国的に風水害、地震、列車事故などの災害が大規模化することに伴い、県内や県外の消防、医療、防災機関、行政などの迅速な連携活動が必要不可欠となっています。

IV 119番着信状況

119番の総着信件数は5,992件で219件の増加でした。平成18年から減少傾向でしたが、やや増加しています。

事故種別ごとの占める割合を見ると、それぞれ火災通報90件で44件減、救急通報4,099件で85件増、救助通報26件で1件増、警戒通報34件で11件減、問い合わせ527件で13件減、悪戯60件で11件減、間違い358件で7件減、訓練798件で219件増でした。総着信件数から問い合わせ、悪戯、間違い、訓練などを除く災害通報は4,249件でした。119番に接続できる固定電話、携帯電話、IP電話からの位置情報を取得するため「統合型発信地システム」を平成22年7月から導入しました。その機能が発揮され迅速な対応が取れます。

I 火災概況

(平成22年上半期 1月～6月)

1 火災の状況

(1) 火災件数

平成22年上半期の火災件数は41件で、前年に比べ22件(−35%)少なくなっています。

年別	18年	19年	20年	21年	22年
火災件数	68件	70件	48件	63件	41件

(別表I-1・別図I-1参照)

(2) 火災種別

種別の構成比率をみますと、建物火災が全体の68%と最も高い比率を占め、次いでその他火災(枯れ草火災など)20%、車両火災の10%と続いています。前年に比べ建物火災は5件、その他火災(枯れ草火災など)は14件少なくなっています。

(別表I-1・別図I-2参照)

(3) 月別

月別の火災件数をみますと、5月が9件で最も多く、次いで1月の8件、4月と6月の7件となっています。

(別表I-2・別図I-3参照)

(4) 市町村別

市町村別の火災件数をみますと、市部(米子市、境港市)が23件で全体の56.1%を占めています。

(別表I-3・別図I-4参照)

(5) 損害額

損害額は、136,814,000円で、前年(56,498,000円)に比べ80,316,000円多くなっています。要因としては、建物火災によるものと、作業場火災における収容物の焼損によるものです。

火災種別ごとの損害額をみますと、建物火災が約134,936,000円で全体の99%以上を占めています。

月別の損害額は、4月の約86,896,000円が最も多く、次いで1月の32,275,000円となっています。

(別表I-1・別表I-2参照)

2 火災原因

原因は、「こんろ」が6件で最も多く、次いで「放火(放火疑い含む)」5件、「たき火」「火入れ」が5件となっています。

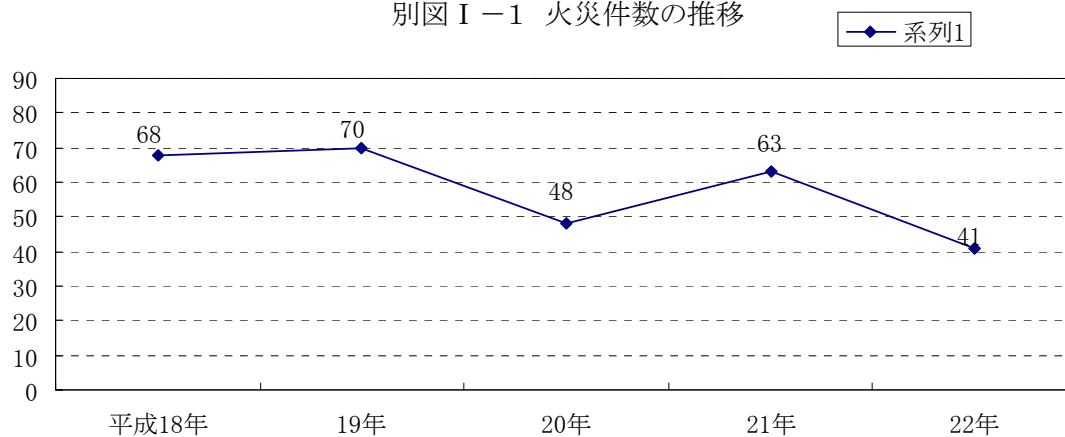
(別表I-4参照)

3 死者・負傷者

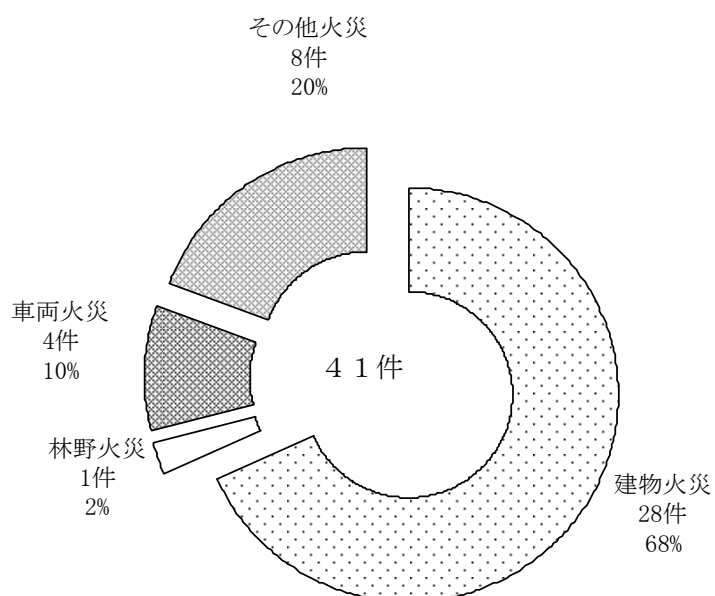
死者は1人で、前年と比べ1人減少しています。

また、負傷者は前年と比べ2人増加し10人となっており、消火しようとした際に多く発生しています。
(別表 I - 1・別図 I - 5 参照)

別図 I - 1 火災件数の推移

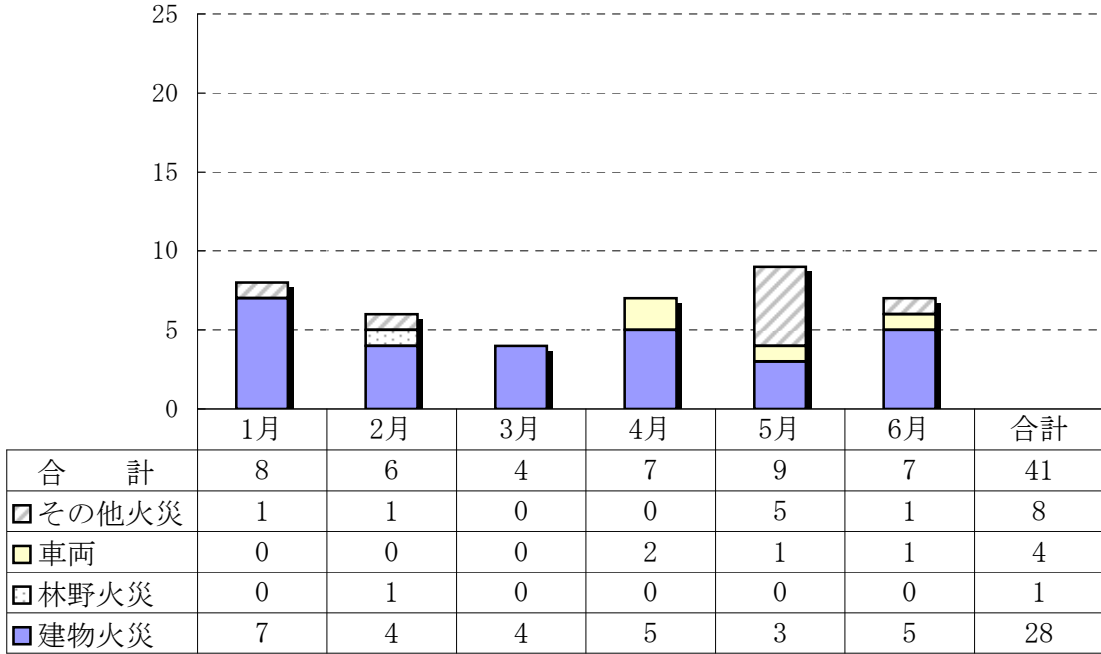


別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率

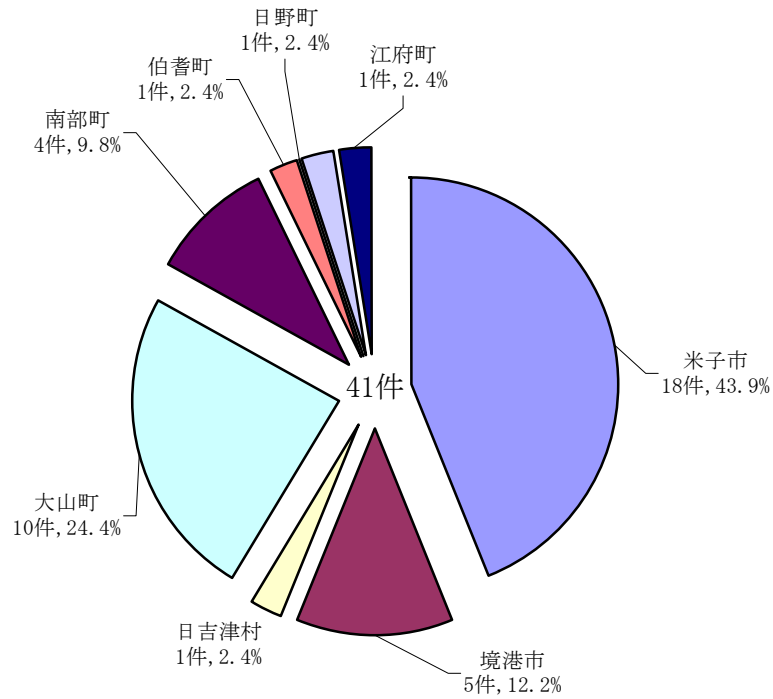


別図 I - 3 月別の火災件数

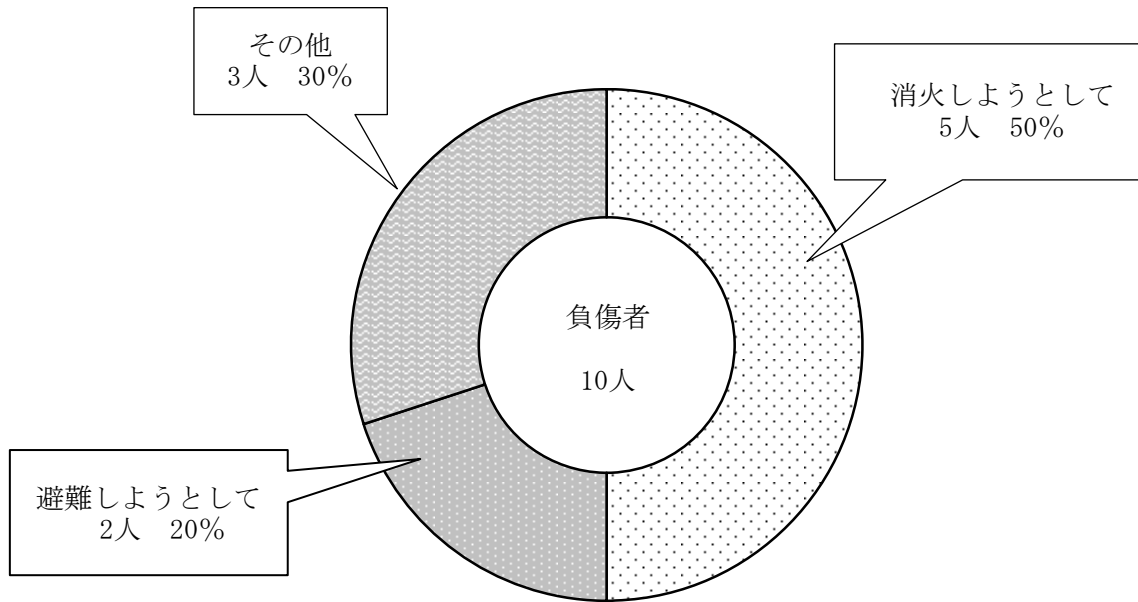
■ 建物火災 □ 林野火災
 ■ 車両 □ その他火災



別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率



別図 I - 5 経過別負傷者発生状況



別表 I - 1 平成 22 年上半期の火災概況

区 分	平成 22 年 A	平成 21 年 B	増 減 C (A-B)	増 減 率 C/B%	
火 災 件 数 (件)	4 1 (100%)	6 3 (100%)	- 2 2	-35%	
建 物 火 災	2 8 (68%)	3 3 (53%)	- 5	-15%	
林 野 火 災	1 (2%)	4 (6%)	- 3	-75%	
車 両 火 災	4 (10%)	4 (6%)	0	0%	
船 舶 火 災	0 (0%)	0 (0%)	0%	-	
そ の 他 火 災	8 (20%)	2 2 (35%)	- 1 4	-64%	
焼 損 棟 数 (棟)	4 9 (100%)	5 1 (100%)	- 2	-4%	
全 焼	1 3 (27%)	1 4 (27%)	- 1	-7%	
半 焼	2 (4%)	2 (4%)	0	0%	
部 分 焼	1 2 (24%)	2 0 (39%)	- 8	-40%	
ぼ や	2 2 (45%)	1 5 (30%)	7	47%	
罹 災 世 帯 数 (世 帯)	2 0 (100%)	3 3 (100%)	- 1 3	-39%	
全 損	7 (35%)	8 (24%)	- 1	-13%	
半 損	0 (0%)	2 (6%)	- 2	-100%	
小 損	1 3 (65%)	2 3 (70%)	- 1 0	-43%	
罹 災 人 員 (人)	5 0	9 0	- 4 0	-44%	
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	5, 1 5 8	1, 4 3 6	3, 7 2 2	259%
	林 野 (a)	7	2 0	- 1 3	-65%
損 害 額 (千 円)	1 3 6, 8 1 4	5 6, 4 9 8	8 0, 3 1 6	142%	
建 物 火 災	1 3 4, 9 3 6	5 4, 5 9 0	8 0, 3 4 6	147%	
林 野 火 災	1 5	2 8 6	- 2 7 1	-95%	
車 両 火 災	1, 8 5 9	1, 5 4 9	3 1 0	20%	
船 舶 火 災	0	0	0	-	
そ の 他 火 災	4	5 5	- 5 1	-93%	
1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	火 災 全 体	3, 3 3 7	8 9 7	2, 4 4 0	272%
	建 物 火 災	4, 8 1 9	1, 6 5 4	3, 1 6 5	191%
1 件 当 り 損 害 面 積	建 物 (m ²)	1 8 4	4 4	1 4 0	319%
	林 野 (a)	7	5	2	40%
死 者 (人)	1	2	- 1	-50%	
負 傷 者 (人)	1 0	8	2	25%	

備考 () 内は構成比を示す。

別表 I - 2 月別火災発生状況

	合計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他火災		焼損棟数				り災世帯			死者	負傷者	30日以内死亡		
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全	半	り	合計	全	半				り	
1月	8	32,275	7	32,274							1	1	14	4		3	7	3		4	16	1	8	
2月	6	7,311	4	7,296	1	15	7		1		1		4	1		1	2			3	5	1	1	
3月	4	3,513	4	3,513									6	2		4				2	5			
4月	7	86,896	5	85,137				2	1,759				16	5	1	3	7	4			15			
5月	9	557	3	526			1	31			5		3			1	2			2	3	1	1	
6月	7	6,262	5	6,190			1	69			1	3	6	1	1		4			2	6			
合計	41	136,814	28	134,936	1	15	7	4	1,859	0	8	4	49	13	2	12	22	7	0	13	50	1	10	0

別表I-3 市町村別火災状況

	火災件数						焼損面積			焼損棟数				り災人員	死者	負傷者	30日以内死亡	損害額 (千円)					
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 ㎡	表面积 ㎡	林野 a	合計	全焼	半焼	部分焼						ぼや	り災世帯数			
																				合計	全	半	小
米子市	18	14	1	2		1	615	29	7	17	3		5	9	10	2		8	27	6		56,012	
境港市	5	3		1		1	3,024	1		3	1		1	1	2			2	7	1		12,964	
日吉津村	1					1																	
大山町	10	7				3	888	29		24	5	1	6	12	7	4		3	15	1	2		58,093
南部町	4	3				1	209			4	3	1			1	1			1	1			2,103
伯耆町	1	1					422			1	1												6,883
日南町	0																						
日野町	1			1																			759
江府町	1					1																	
合計	41	28	1	4		8	5,158	59	7	49	13	2	12	22	20	7		13	50	1	10		136,814

別表 I - 4 原因別火災発生概況

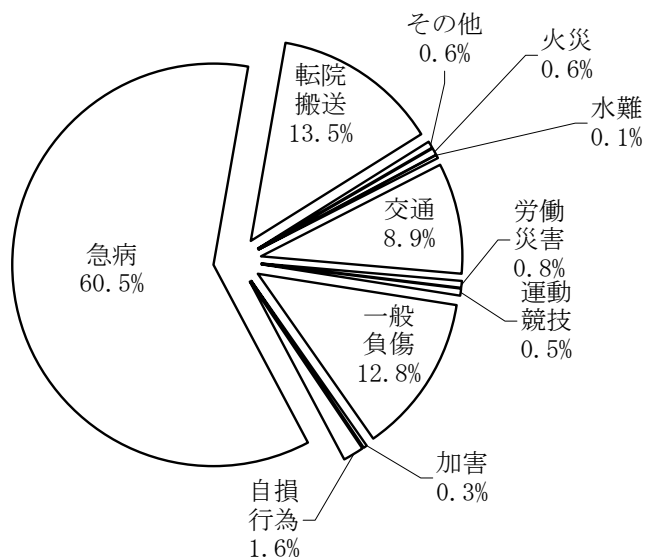
原因別	火災件数							損害額 (千円)	死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		計	死者
合計	41	28	1	4			8	136,814	1	10
たばこ	3	2					1	24,957		
こんろ	6	6						906		1
かまど										
風呂かまど	1	1						406		1
炉										
焼却炉										
ストーブ	1	1						2		1
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道	1	1						1,270		
排気管										
電気機器	1			1				31		
電気装置										
電灯・電話等の配線	1	1						160		
内燃機関										
配線器具										
火あそび										
マッチ・ライター										
たき火	5		1				4	19		3
溶接機・切断機										
灯	1	1						362		
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火	1	1						1		
放火の疑い	4	3					1	27,358		
その他	6	4		1			1	7,991		
不明・調査中	10	7		2			1	73,351	1	4

救急概況

(平成22年上半期 1月～6月)

- 1 救急出動状況、救急搬送状況
平成22年上半期の救急出動件数及び救急搬送人員は、それぞれ4,235件、4,015人であり、前年同期と比べて救急出動件数は88件(+2.1%)、救急搬送人員は136名(+3.4%)の増加となりました。(別図Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-3参照)
- 2 市町村別救急活動状況
市町村別では、米子市の救急出動件数及び救急搬送人員がそれぞれ2,475件(58.4%)、2,315人(57.7%)と半数以上を占めています。(別図Ⅱ-4参照)
- 3 傷病程度別搬送状況
傷病程度別の搬送人員を見ると、中等症が1,981人(49.3%)で最も多く、次いで軽症が1,334人(33.2%)、重症597人(14.9%)、死亡95人(2.4%)となっています。(別図Ⅱ-5参照)
- 4 年齢別搬送状況
年齢別の搬送人員のうち、65歳以上の高齢者は2,381人(59.3%)で搬送人員の6割近くを占めています。(別図Ⅱ-6参照)
- 5 署所別救急活動状況
署所別の救急出動件数、救急搬送人員ともに米子市を管轄する米子消防署(1,417件1,307人)、皆生出張所(723件、680人)で約半数を占めています。(別図Ⅱ-7参照)
- 6 月別救急活動状況
月別の救急出動件数を見ると、1月の751件(17.7%)が最も多く、次いで4月、5月となっています。(別図Ⅱ-8参照)
- 7 現場到着所要時間、収容所要時間
平均現場到着所要時間は7分27秒、平均収容所要時間は35分13秒であり、前年同期と比べて平均現場到着所要時間は19秒延長、平均収容所要時間は1分27秒延長しています。(別図Ⅱ-9, Ⅱ-10参照)
- 8 応急手当実施状況
家族等により応急手当が実施された件数は、45.4%となりました。(別図Ⅱ-11参照)
- 9 高度救命処置件数
気管挿管、薬剤投与が行なえる認定救急救命士の増加により、処置件数も増加しています。(別図Ⅱ-12参照)
- 10 医師引継ぎ時の状況
心肺停止傷病者を救急車で搬送中に13名の方が回復しています。(別図Ⅱ-13参照)

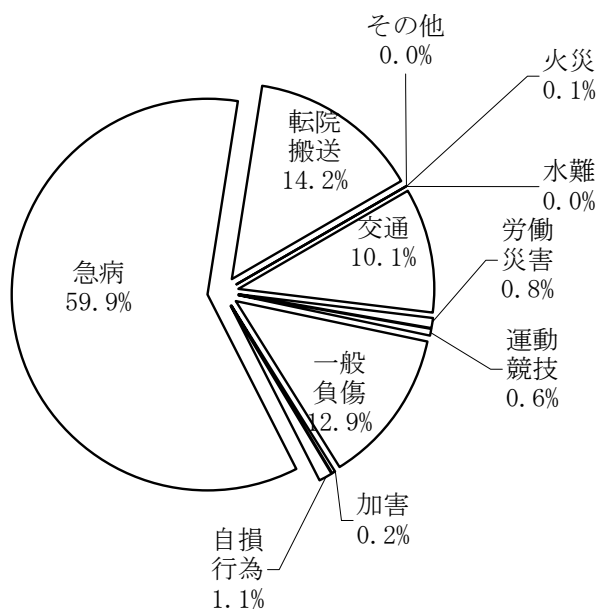
別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



事故種別	火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出場件数	27	3	376	32	23	540	12	66	2,562	570	24	4,235

※自然災害は、発生しませんでした。

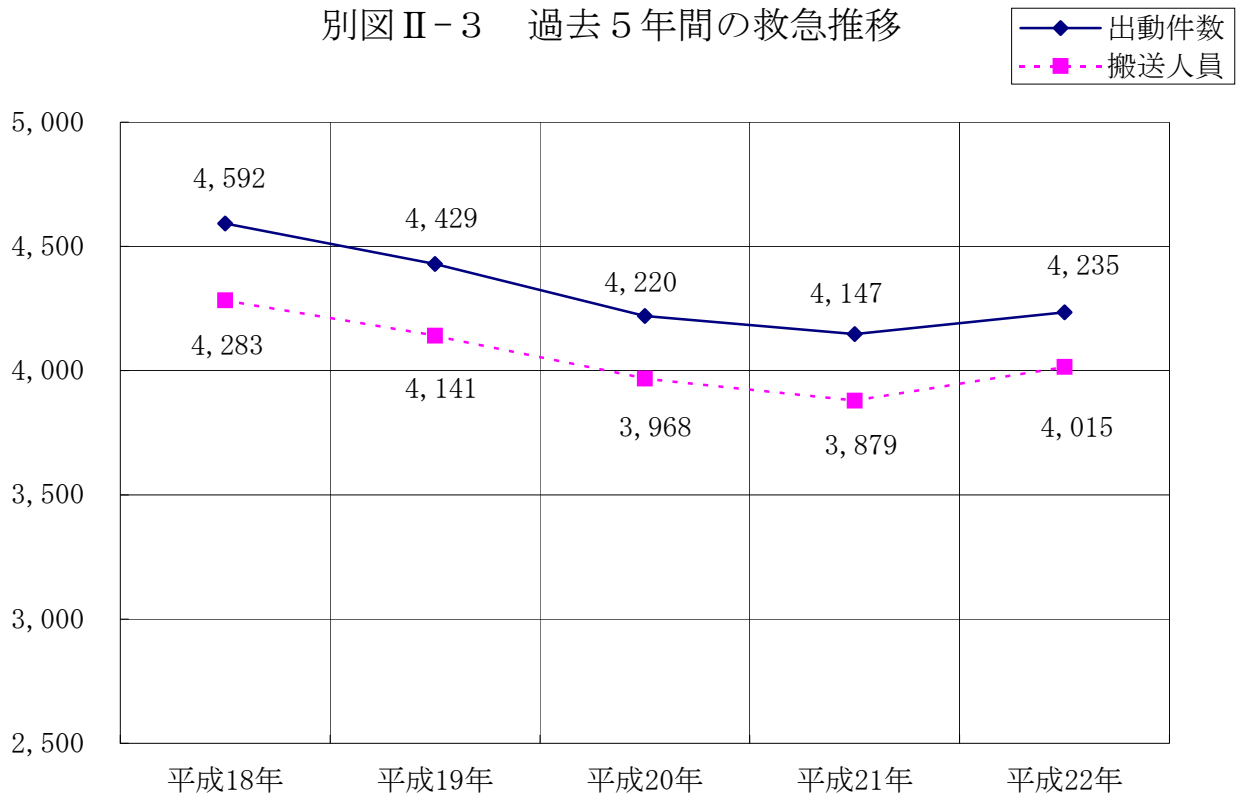
別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況



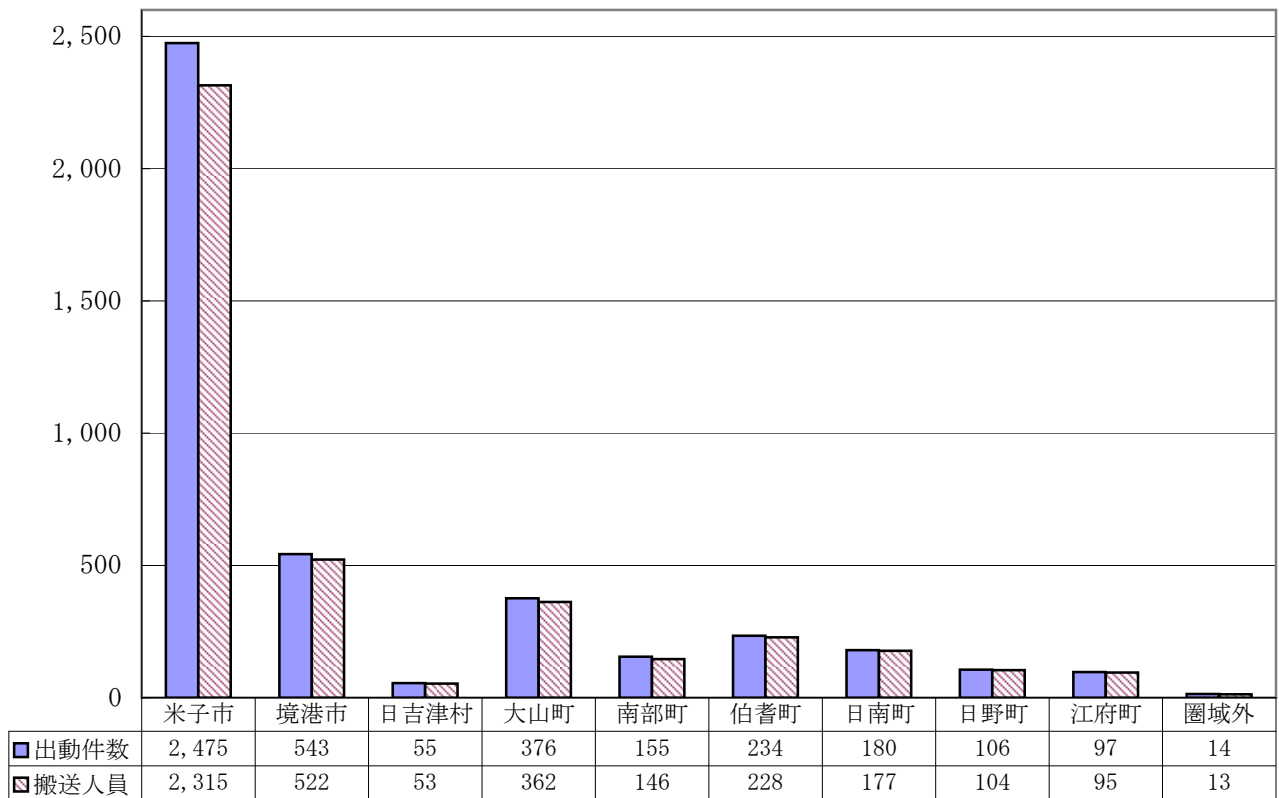
事故種別	火災	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	5	0	407	32	23	519	10	45	2,404	570	0	4,015

※自然災害は、発生しませんでした。

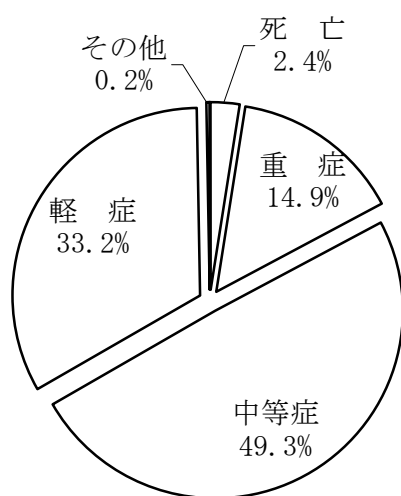
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

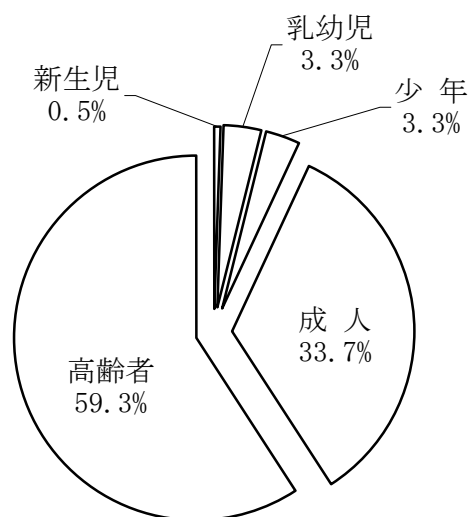


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



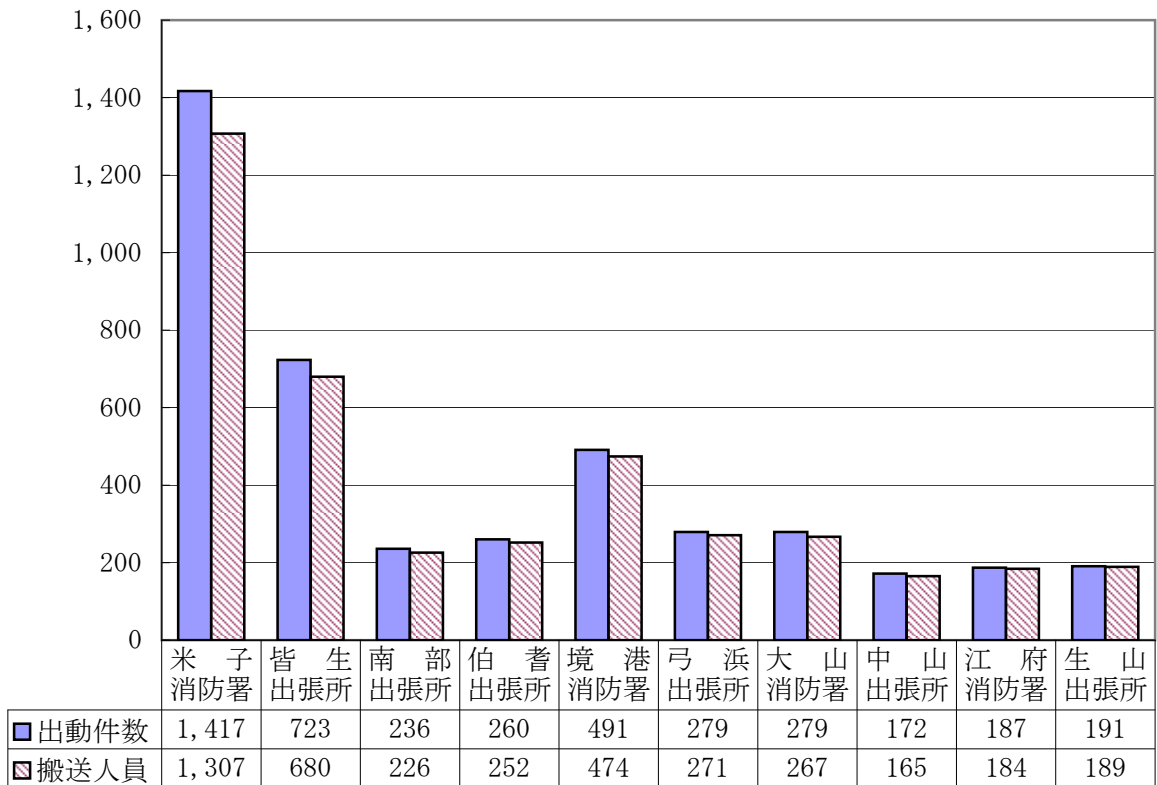
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	95	597	1,981	1,334	8	4,015

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

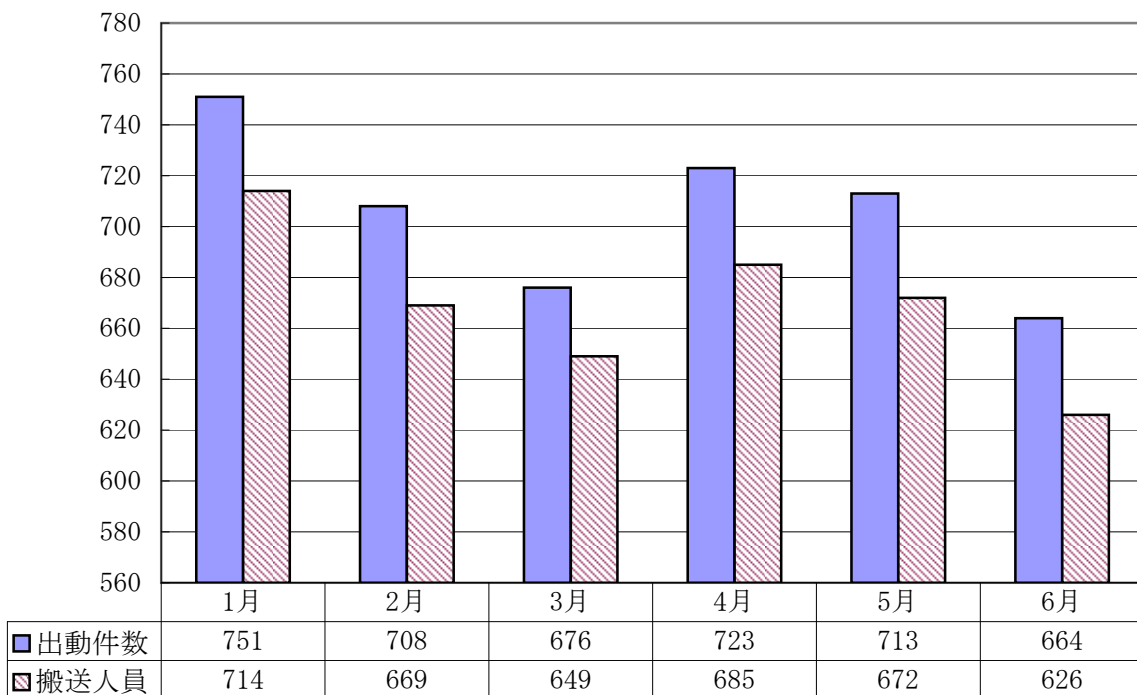


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	20	131	131	1,352	2,381	4,015

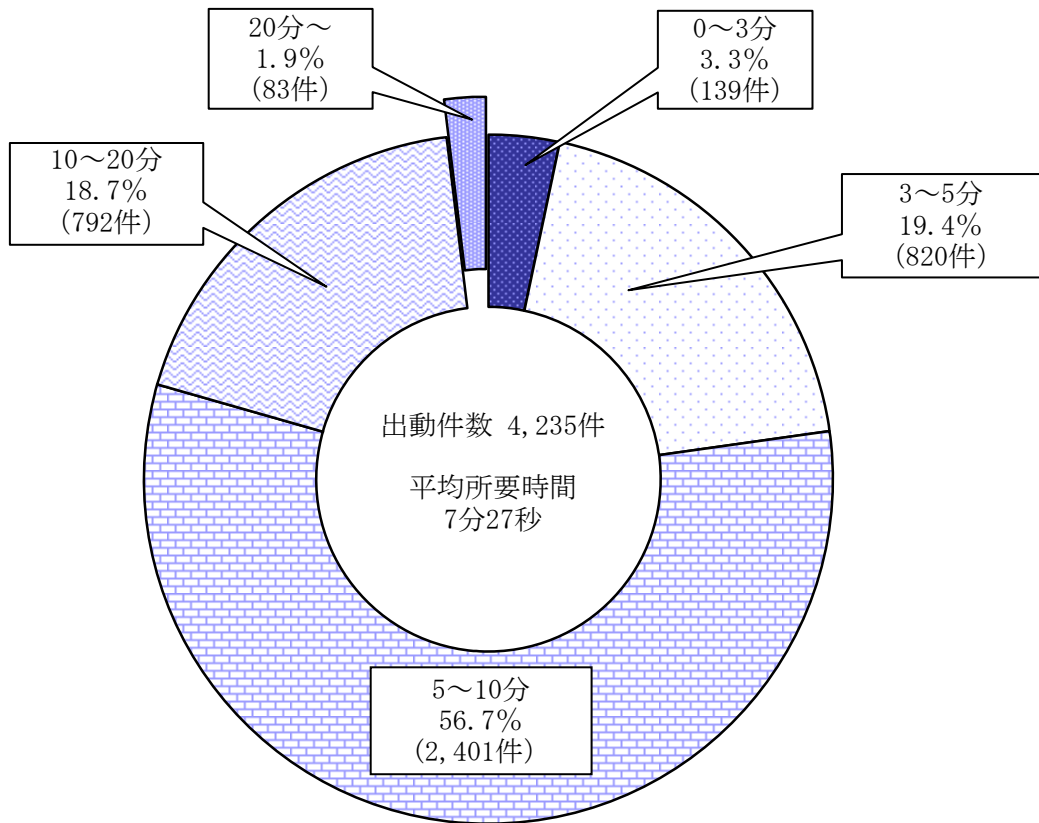
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



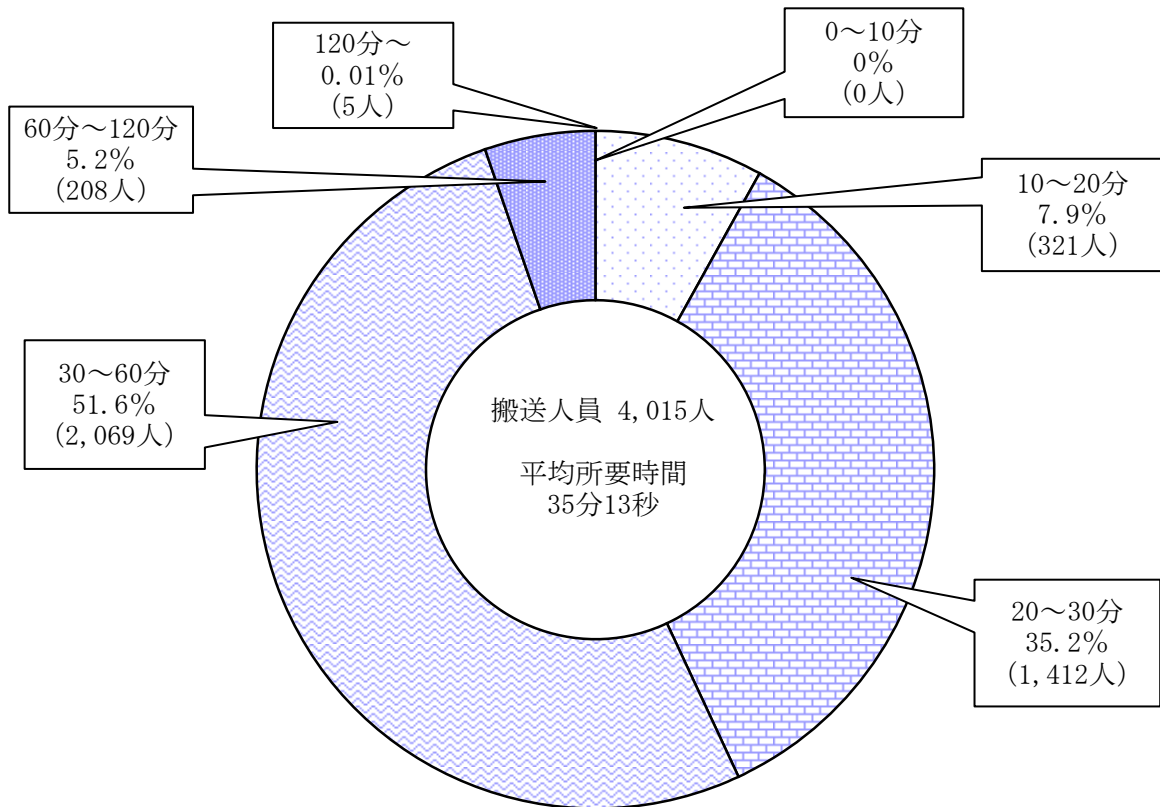
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



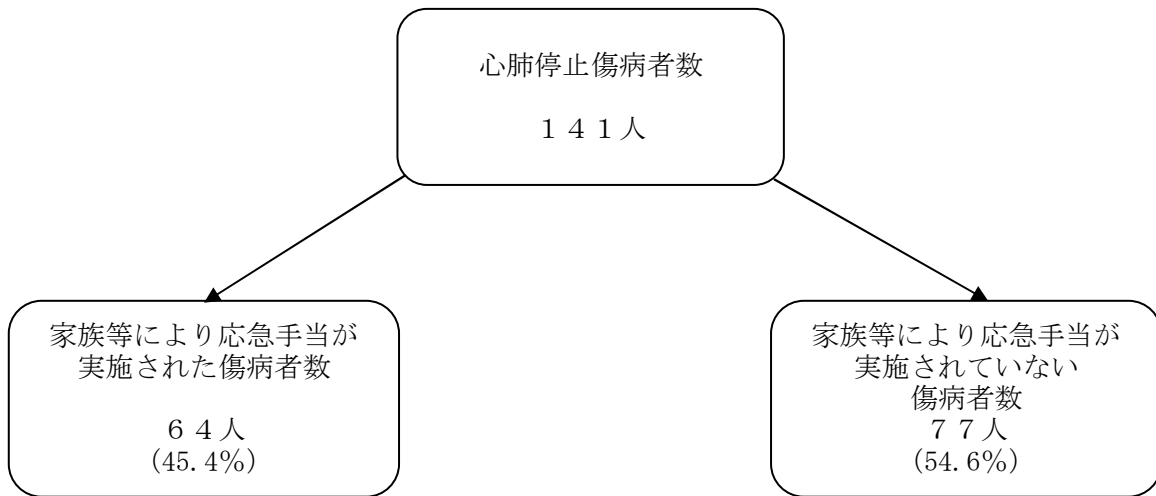
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



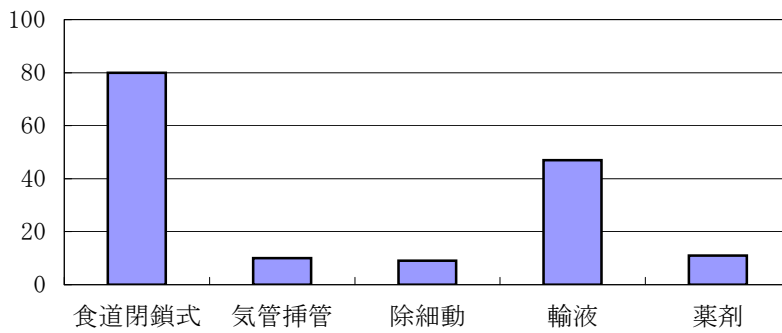
別図Ⅱ-10 收容所要時間



別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況

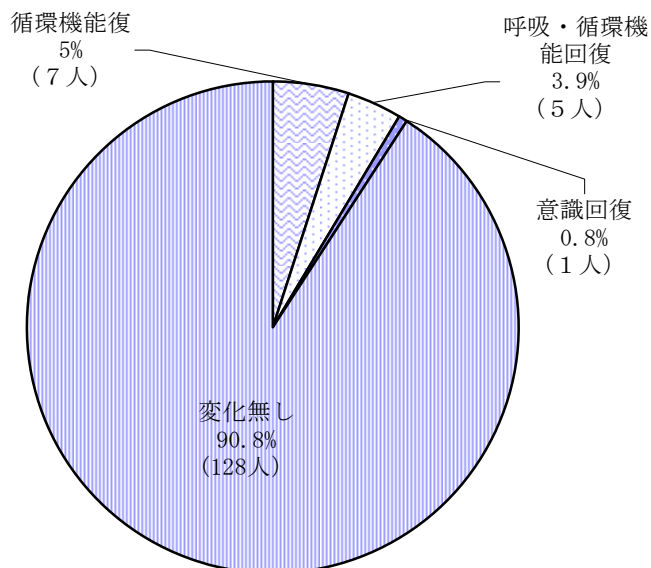


別図Ⅱ-1 2 高度救命処置件数



	食道閉鎖式	気管挿管	除細動	輸液	薬剤
実施件数	80	10	9	47	11
割合 (%)	62	8	7	36	9

別図Ⅱ-1 3 医師引き継ぎ時の状況



Ⅲ 救助概要

(平成22年上半期 1月～6月)

1 事故種別救助出動状況

救助出場件数は71件あり、そのうち交通事故が33件(46.5%)と最も多く、火災が15件(21.1%)、水難事故が4件(5.6%)、建物事故が2件(2.8%)、機械事故が1件(1.4%)、ガス及び酸欠事故が1件(1.4%)、その他の事故が15件(21.1%)となっています。

(別図Ⅲ-1参照)

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は53件あり、そのうち交通事故が22件(41.5%)と最も多く、火災が15件(28.3%)、建物事故が2件(3.8%)、水難事故が2件(3.8%)、その他の事故が11件(20.8%)となっています。

(別図Ⅲ-2参照)

3 事故種別救助人員状況

救助された人員は47人あり、そのうち交通事故が30人(63.8%)と最も多く、火災が2人(4.3%)、水難事故が2人(4.3%)、建物事故が2人(4.3%)、その他の事故が11人(23.4%)となっています。

(別図Ⅲ-3参照)

4 管轄別救助活動状況

事故が発生した場所を消防署の管轄別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員とも米子消防署が最も多く、次いで境港、大山、江府消防署の順となっています。

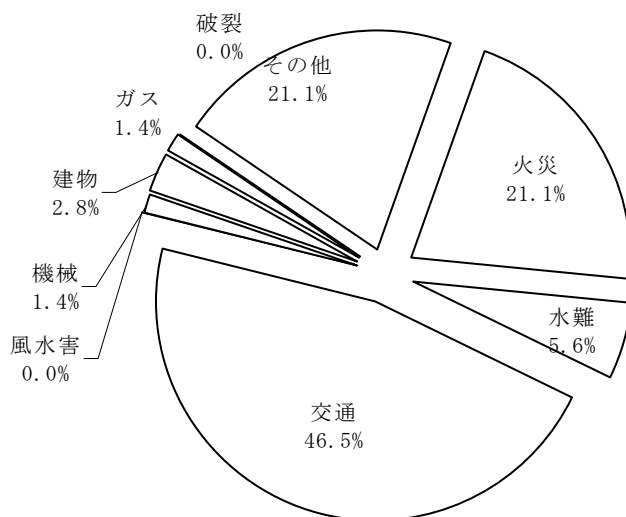
(別図Ⅲ-4参照)

5 市町村別救助活動状況

事故が発生した場所を市町村別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く、次いで境港市、大山町の順となっています。

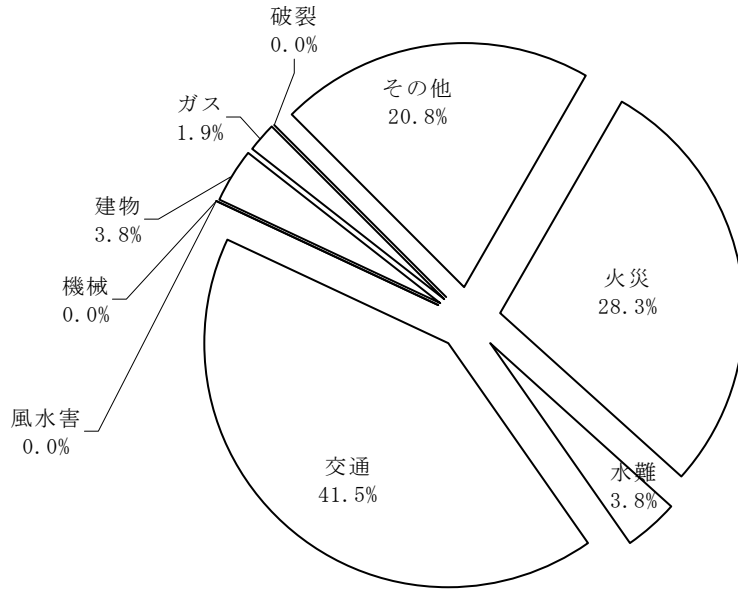
(別図Ⅲ-5参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出場状況



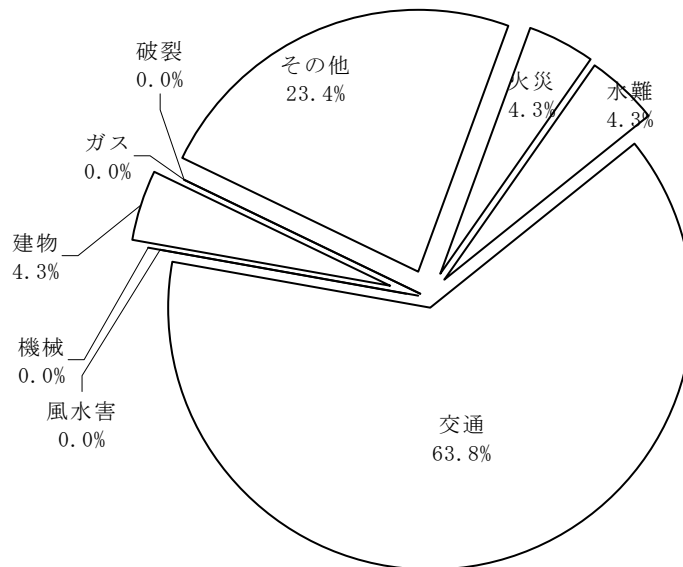
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	15	4	33	0	1	2	1	0	15	71

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



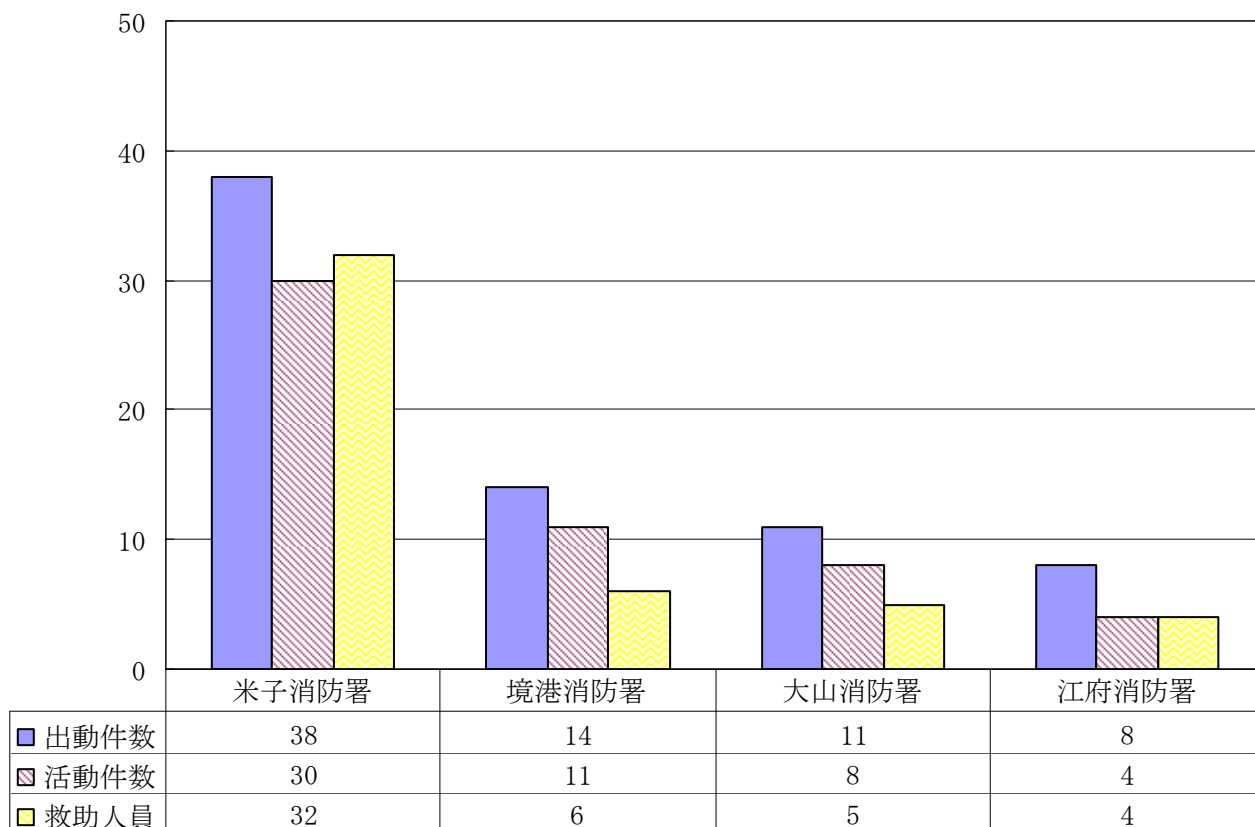
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	15	2	22	0	0	2	1	0	11	53

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

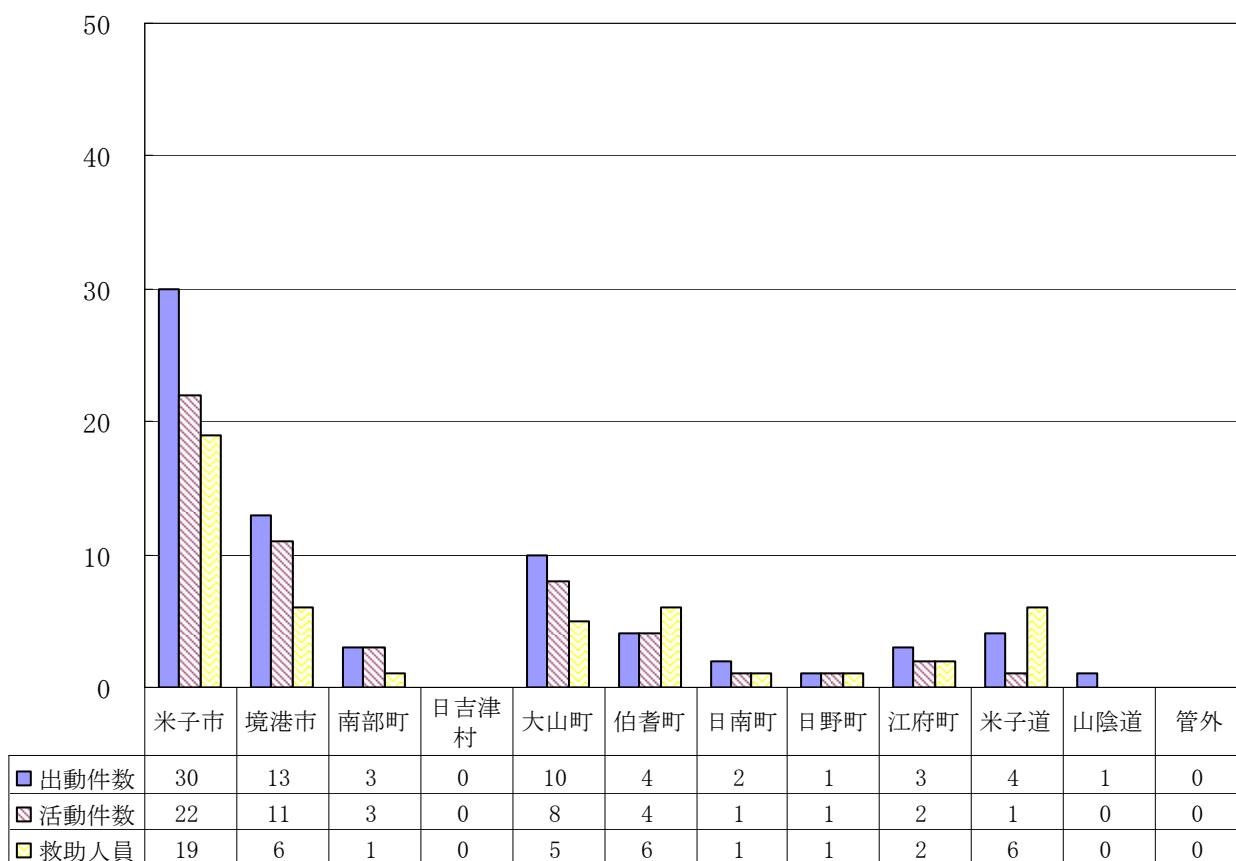


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	2	2	30	0	0	2	0	0	11	47

別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



IV. 119番着信状況

(平成22年上半期 1月～6月)

1. 概況

平成22年上半期の119番通報は、総着信件数5,992件で昨年上半期より219件多くなっています。1ヶ月平均にすると約999件、1日平均では約33件の着信となります。通報内容としては、救急が最も多く4,099件(68.4%)でした。火災は90件(1.5%)で、そのほかの通報としては、救助26件(0.4%)、警戒34件(0.6%)、間違い358件(6.0%)、通報訓練等798件(13.3%)、休日・夜間などの病院に関する問い合わせ等527件(8.8%)となっており、悪戯と思われるものが60件(1.0%)でした。

(別表IV-1、別図IV-1参照)

2. 月別の着信状況

月別での着信件数の最も多かったのは5月の1,055件、逆に最も少なかったのは2月の936件で、月平均999件でした。救急通報では、最も多かったのは1月の717件、最も少なかったのは6月の658件で、月平均約683件でした。火災通報では、最も多かったのは1月の28件、最も少なかったのは6月の6件で、月平均15件でした。

(別表IV-2、別図IV-2、IV-4参照)

3. 電話種別による通報状況

災害別の通報状況として、固定電話(IP電話含む)と携帯電話の比率では、救助、火災、警戒が救急に比べ携帯電話の比率が高くなっています。屋外で発見される場合の多い交通事故等や火災、たき火といった多くの人の目につきやすいものと、急病など屋内で発生することが多い救急との違いが現れています。

(別表IV-3、IV-4、別図IV-3、IV-5参照)

4. 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は1,627件で、全着信件数の約27%でした。携帯電話で119番通報されますと、その場所により必ずしも、電話をされた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外の通報が着信した場合には、その地区を管轄する消防本部に電話を相互に転送し、対応します。これを携帯電話の消防機関別転送処理状況として別表(IV-6)に表しています。上半期の他の消防機関との転送処理件数は26件でした。

(別表IV-3、IV-5、別図IV-3参照)

5. 時間帯別 119番通報の着信状況

時間帯別 119番通報の着信件数は、活動時間帯(午前8時頃～午後9時)に大半を占めており、睡眠時間帯(午後10時～午前6時)では午前5時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。

(別図Ⅳ-4参照)

別表Ⅳ-1 119番着信件数の推移(上半期)

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
平成18年	199	4,461	34	42	593	104	412	465	6,310
平成19年	152	4,253	34	50	508	51	456	526	6,030
平成20年	92	4,049	30	57	505	70	373	570	5,746
平成21年	134	4,014	25	45	540	71	365	579	5,773
平成22年	90	4,099	26	34	527	60	358	798	5,992

別表Ⅳ-2 月別119番着信状況(上半期)

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
1月	28	717	3	8	113	14	57	63	1,003
2月	7	683	5	4	75	6	53	103	936
3月	11	670	8	10	79	10	63	154	1,005
4月	26	683	7	3	75	8	58	117	977
5月	12	688	1	2	109	12	72	159	1,055
6月	6	658	2	7	76	10	55	202	1,016
合計	90	4,099	26	34	527	60	358	798	5,992
月平均	15	683.2	4.3	5.7	87.8	10	59.7	133	998.7

別表Ⅳ-3 電話種別による119番着信件数の推移(上半期)

	固定電話からの着信件数	携帯電話からの着信件数	I P電 話	合 計
平成18年	4,690	1,527	93	6,310
平成19年	4,323	1,465	242	6,030
平成20年	3,913	1,458	375	5,746
平成21年	3,573	1,508	692	5,773
平成22年	3,472	1,627	893	5,992

別表Ⅳ－４

電話種別の通報状況（上半期）

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
固定電話	34	2,442	5	12	210	27	145	597	3,472
携帯電話	50	974	20	15	255	31	167	115	1,627
I P 電話	6	683	1	7	62	2	46	86	893
総 合 計	90	4,099	26	34	527	60	358	798	5,992

別表Ⅳ－５

携帯電話からの着信状況（上半期）

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送をした件数
直接通報を 受けた件数	他の消防機関から 転送受信した件数	総着信件数	
1,618	9	1,627	17

別表Ⅳ－６

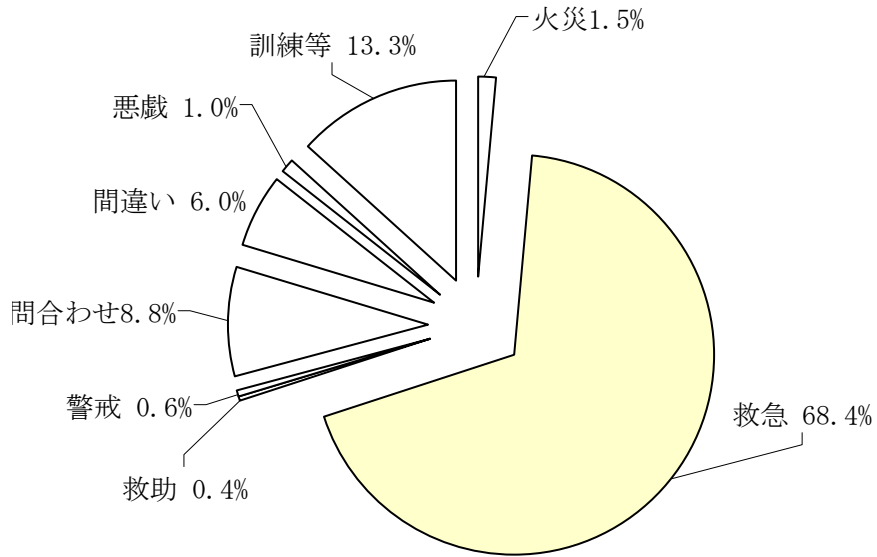
携帯電話の消防機関別転送状況（上半期）

他の消防機関から転送を受信した件数				
消防	火災	救急	その他	合計
松 江		4		4
安 来		1	1	2
雲 南				
東 部			1	1
中 部			1	1
新 見		1		1
真 庭				
津 山				
備 北				
合 計		6	3	9

他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計
松 江		9	1	10
安 来		5		5
雲 南				
東 部		1		1
中 部		1		1
新 見				
真 庭				
津 山				
備 北				
合 計		16	1	17

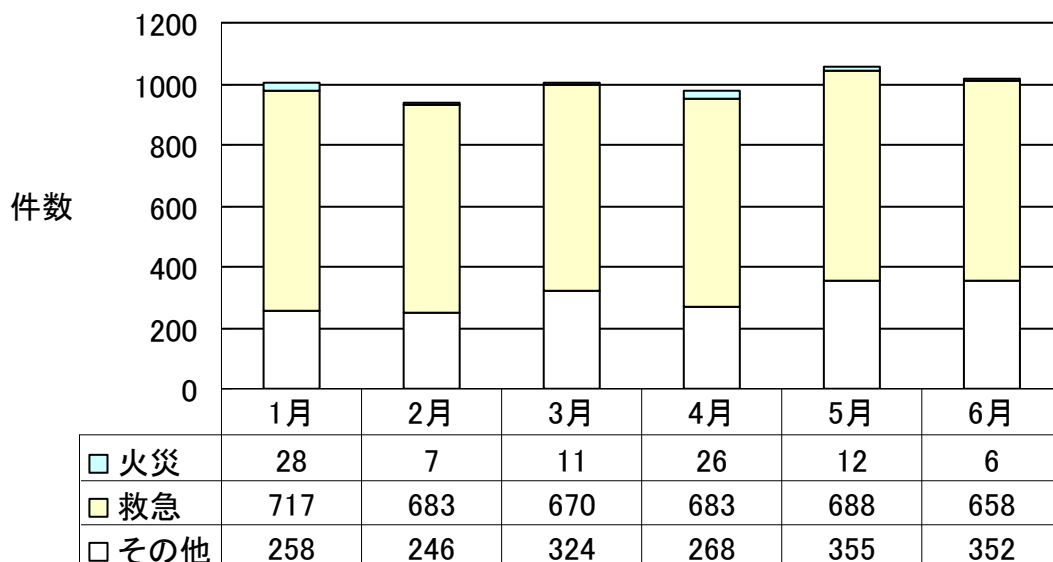
別図IV—1

通報内容別着信状況

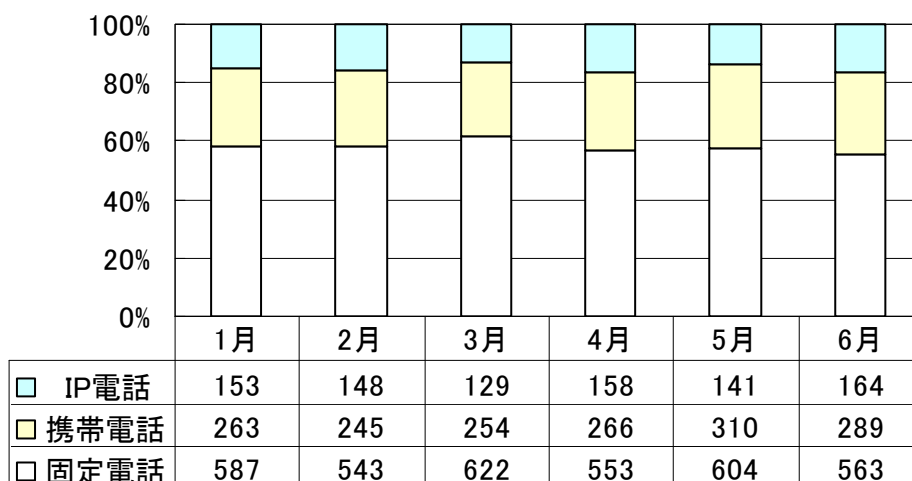


別図IV—2

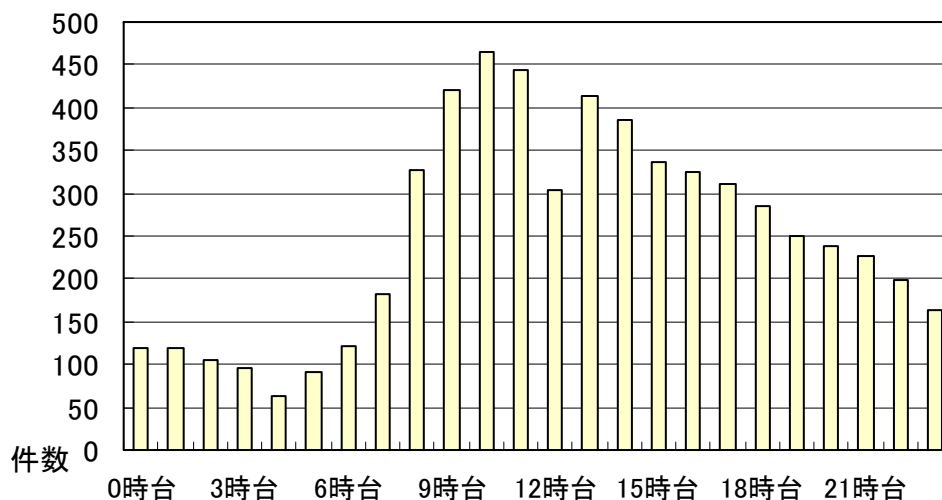
月別着信状況



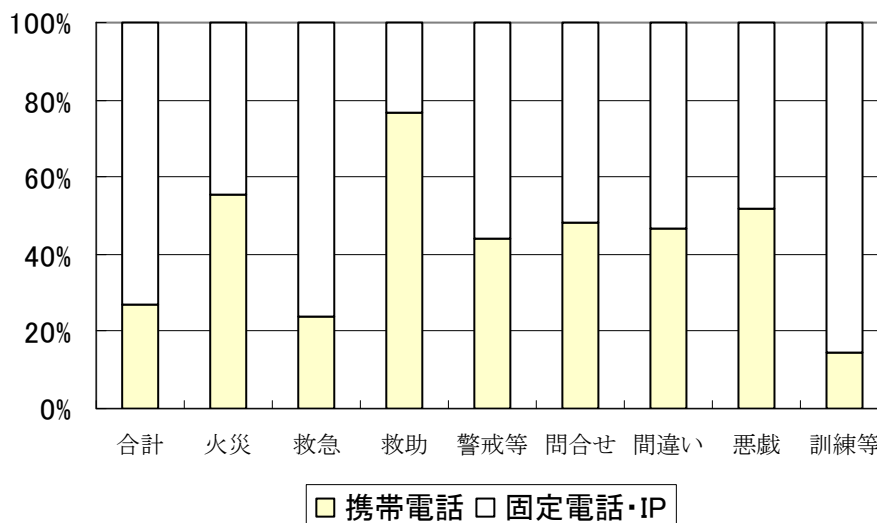
別図IV—3 固定電話、携帯電話、IP電話からの着信比率



別図IV—4 時間帯別着信状況



別図IV—5 災害別の固定電話、携帯電話からの着信比率



「消したかな」 あなたを守る 合言葉

平成22年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町1丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生5丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3132	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救急救助…………… 警防課救急救助係	0859-35-1959
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成22年7月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)